

令和5年度 人権ポスター・人権標語優秀作品

人権ポスター優秀作品



川辺小 2年 山本 晃大



川辺小 4年 林 由奈



岡田小 2年 池田 琴音



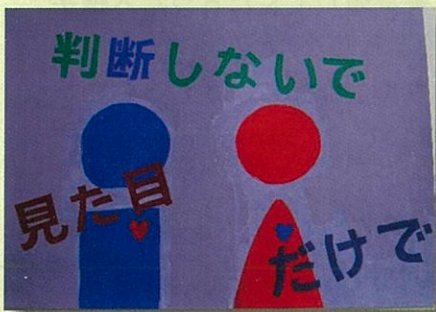
岡田小 6年 佐藤 莉央



菌小 2年 河田 優希



菌小 6年 湯口 はな



真備東中 2年 平岡 由衣



真備東中 2年 森定 結音



真備東中 2年 藤原 永那

人権標語優秀作品

川辺小学校	3年 堀部 大雅	だれにでも やさしくする いい世界
	5年 國本 美貴	どこにいても みんな友だちだよ 大じょうぶ
岡田小学校	3年 亀井山 舜貴	「いっしょにあそぼ」 なかよくなれる すてきな言葉
	5年 森脇 愛翔	みんな笑顔 幸せの輪を 広げよう
菌小学校	2年 田邊 望	ありがとう あなたのえがおで ころもまんたん
	5年 笠岡 一花	友達を 笑顔にするなら わたしが笑顔
真備東中学校	1年 井口 菜南	認め合う みんならしさ 光らせる
	2年 森定 結音	それでいい 自分の好きを 隠さないで
	3年 澁江 亜希	笑わずに その相談 受け入れて

倉敷市人権ポスター 最優秀賞



菌小 2年 原 彩乃

人権だより 33号 であい

発行 令和6年3月
真備東中学校区
人権学習推進委員会
事務局 倉敷市真備公民館
倉敷市真備町箭田1685
TEL 086-698-0042

真備・真備東中学校区

合同研修会

令和6年2月4日(日) 場所 真備公民館

新のぼり旗デザイン表彰、人権作文発表、京都フィールドワーク報告が行われました。人権作文では、性の多様性、言葉の暴力、思いやり、子どもの虐待等をテーマにした発表でした。それぞれの視点から、自分の思いや課題解決に向けた取組をしっかりと考えて発表していました。大きな声で堂々と発表している態度はとても立派でした。

「誰もが、自由に、明るく平等に生きていける 社会の実現に向けてがんばります。」(真備陵南高等学校 西山さんの発表より引用)

参加者感想

- ・身近な話題について、小・中・高生、それぞれの視点からしっかり考え、問題提起がされ、「自分はこうしていきたい」という主張を聞かせていただきました。これから生きていく若い世代が、全ての人にとって住みよい世の中をつくるための提案をしてくれ、とても頼もしく感じました。
- ・誰もが相手を尊重し、思いやりの気持ちをもつことができれば、いじめや差別はなくなるのではないかという子どもたちのストレートな言葉に心が動かされました。一人ひとりが人権意識と向き合い、その解決に向けて一歩踏み出しているところがすばらしいと思いました。

人権作文発表者

真備陵南高等学校	2年 西山 奈々美	「普通」を変えたい
菌小学校	6年 湯口 はな	言葉の重み
呉妹小学校	6年 長谷川 睦一	つなげよう、思いやり
真備東中学校	2年 石原 千乃	幸せを守る
真備中学校	2年 小島 彩椰	どんな相手とでも



「言葉の重み」

菌小学校 六年 湯口 はな

「死ね!!」

このひどい言葉を聞くことがあります。この言葉だけではなく、人を傷つける言葉のなんと多いことか。言っている人は、深く考えていないのかもしれないですが、受け止める人によっては、心にひどい傷を負うことがあります。話し言葉だけではありません。私はテレビで「誹謗中傷」という言葉を耳にしました。主にインターネットで使われるいわれのない悪口です。これによって自らの命を絶ったという話も聞きました。インターネットはとても便利な道具ですが、使い方によってはとても怖い凶器になることを知りました。誰でも言葉を書きこめたり、顔や本名を隠したままにしたり、たくさんの人の意見を確かできなかったりするためか、誹謗中傷がとても多くなるようです。声が聞こえず、顔も見

えないため、こういう思いで、こういう気持ちで書きこんだのか、まったく分かりません。それを考えると、やはりとてもこわいものだと思います。

でも、言葉は当然悪いことだけではありません。むしろ、良いことの方が多いと思います。特に、「だいじょうぶ?」「元気をだして。」

などの励ましや温かい言葉は、人の心をほっこりとさせると思います。誹謗中傷とほっこり、どちらが大切なのかは考えるまでもありません。

私はこれまで、きつい言葉を使ったことがありません。でも、今回この作文を書いたことで言葉のもつ重みについてしっかりと考えることができました。相手の立場に立って、どんな言葉をどんな口調で口にするのか、その場、その時にふさわしい言葉と態度を選んでつかっていかうと思います。

第2回 人権教育講演会 令和6年1月14日(日)

音楽は心のビタミン ～免疫力アップのために～

岡山県健康づくり財団保健部附属診療所副所長 **岸本 寿男 先生**



尺八に始まり、尺八に終わるすてきな講演でした。尺八とピアノの音に聴き入り、心が癒されたひと時でした。前半は、これまでに岸本先生が取り組んでこられた病院でのロビーコンサートや音楽療法について紹介がありました。後半は、音楽と心の関係、音楽療法の歩みと目的、うつ状態と音楽等について説明がありました。その時の心の状態にあった音楽を選んで聴くことで、感情のバランスが修復し、精神状態が安定する(同質の原理)ことを学びました。音楽を楽しむことの大切さを実感し、音楽が国境を越え、国が違っていても互いに手を取り合って助け合うことが今こそ必要であると感じました。

参加者感想

- ・尺八とピアノの演奏がすばらしかったです。心のビタミンをいただきました。生で聴くのは初めてだったので、本当に感動しました。時間がとても短く感じました。
- ・音楽がストレスを和らげるために一役買ってくれるという体験は、今までを振り返ると多分にあったように感じます。心の安定、穏やかさのためにも、うまく音楽を取り入れたり、自分の好きなものを見つけたりすることを大切にしていきたいと思います。
- ・世界の至る所で演奏され、人とつながっていく、まさに音楽は国境を越えるのだなと感じます。音楽と心の関係、音楽療法のことも知ることができ、音楽が様々な人の心を動かすことを理解することができました。
- ・ダニ音頭が楽しかったです。



倉敷市まびの道とのふれあい交流会 令和6年1月17日(水)

「多肉植物の寄せ植えを楽しみましょう」

最初に、酒賀 範子所長さんから施設について説明をしていただき、作業の様子もを見せていただきました。細かい作業を根気強く、ていねいに取り組まれていました。「多肉植物の寄せ植え」では、好きな植物を3つ選び、各々が配置を考えながら自由に植えていきました。初めて聞く植物の名前ばかりでとても勉強になりました。後半は、通所されている方や職員の方々と一緒にすごろくゲームをしました。「好きな歌」や「ここだけの話」などを聞くことができ、笑顔いっぱいの楽しい交流会となりました。



川辺小学校 PTA 人権教育講演会

令和5年10月6日(金)

「子育て世代向けライフプランセミナー ～人生の見える化～」

講師 岡山県金融広報委員会 金融広報アドバイザー **佐藤 香名 先生**

生涯という長い期間で考えた場合、いつ、どのような場面でのどのくらいのお金が必要になるのか。上手なお金のため方・運用の仕方とはどのようなものなのかについて、講演をしていただきました。ライフデザインノートに子どもの夢を記入し、実現に必要な進路やそのための費用を「見える化」すると、漠然と考えていた子どもの将来が、現実味をもって見えてきました。生き生きと夢を語る我が子を見ながら、「人生の中で、こうして子どもと一緒に過ごす時間は限られているんだな。」という感想をもたれた保護者もいました。子どもの人権を守り、子育てに真摯に向き合うことの大切さを考える良い機会となりました。



人権のぼり旗 新デザイン決定

来年度は、3年に一度の人権のぼり旗のデザインを更新する年です。真備東中学校美術部の生徒さんからデザインを募集しました。どれも、甲乙つけがたい作品ばかりで、審査をしてくださった人権学習推進委員会の代表の方々の頭を悩ませましたが、一次選考、二次選考、最終選考を重ね、2年生 森定 結音さんの作品に決定しました。

2月4日(日)の真備東中学校区と真備中学校区との合同研修会で新デザインの発表並びに森定 結音さんの表彰を行いました。

新のぼり旗は、令和6年度から令和8年度までの3年間、人権啓発のために使用します。全国人権週間(12月4日～12月10日)に合わせて、真備東中学校区の学校・園・公民館、分館等に掲揚します。また、真備公民館での人権に関する行事等でも使用します。応募して下さった生徒の皆さん、ありがとうございました。



人権ポスター・標語展示

12月2日(土)～10日(日)



真備東中・真備中学校区の各小中学校より募集した人権ポスターと人権標語を真備公民館1階ロビーに展示しました。倉敷市教育委員会人権教育推進室へ出品されたポスターも併せて展示し、多くの方に見ていただきました。お孫さんの作品を見ていた方や作品の前で記念写真を撮っていた親子連れの方等、微笑ましい光景が多く見られました。

